

# 月 SHASHINKI SHINHO 刊 寫眞機新報



フ  
ア  
ー  
ス  
ト  
シ  
ツ  
ク  
ス

オ社主催  
ウインター、スポーツ懸賞入選作品  
京都 林湖邸  
オリエンタル.S.S.パンフィルム  
F8 1/25 2 號フィルター併用  
ブライイトN印畫紙に引伸

寫眞機新報社







雪とスキー寫眞



こずゑの雪

勝田 康雄

絞 F6.3 パンアトミツク  
淡フィルター 1/60秒  
さくら印畫紙八重引伸

勝田康雄

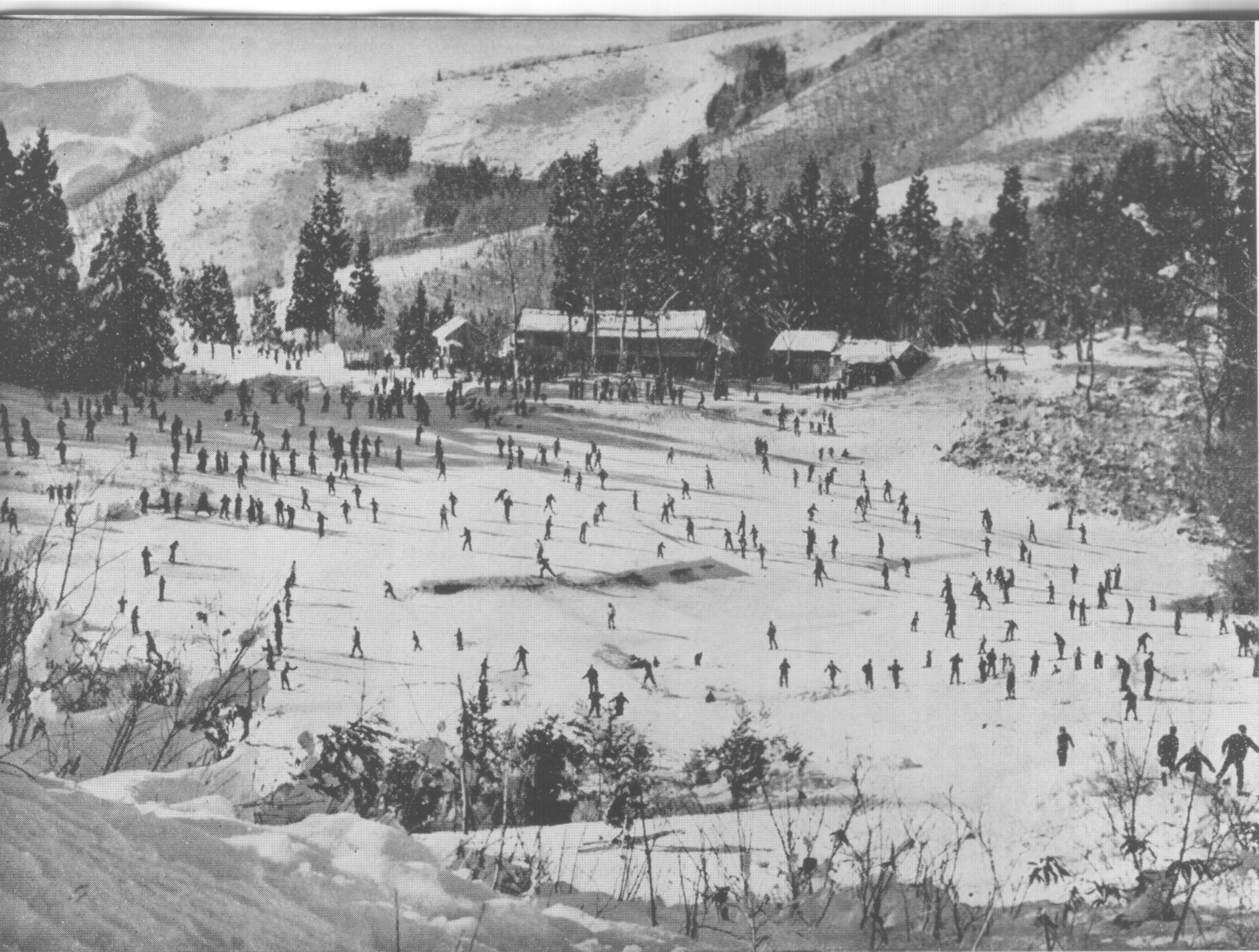
### ◎雪と感光材料

近頃のやうに整色性の秀れた高感度のフィルムが澤山發賣されては、一體どれにしてよいか迷ふのがあたり前ですが、雪景色は白くて明るい被寫體ですから、普通感度の整色性フィルムで充分間に合ひます、ベスト半截撮り以下の小型カメラ使用者にとっては、整色性の秀れた極く微粒子フィルムを使ふのが自然でせう。印畫にした場合に粒子が荒れて見えるやうでは、處女の膚のやうにふくよかな美しい雪面の感じを殺して了ふことになりますからね。

### ◎雪の寫眞は逆光に限るか？

雪の寫眞家として有名な人々の作品を見ると、その大半は逆光撮影によつて雪の面の明暗階調を美しく出してあります。それは何故でせうか。それは、太陽を背にして雪景色を寫すと、雪の面





の凸凹がその感じに寫らないで、眞白な平面に寫つて了ふ傾向があつて、それでは畫面の明暗の變化や美しさが出てこないのです。これと反對に、レンズフードの用意を充分にして純逆光或は半逆光で凸凹のある雪面を寫しますと、雪の膚の極く小さな變化迄よく寫りますし、大きな凸凹によつて生ずる蔭影部などが柔らかな曲線として現はれ、雪の厚味迄も感じられて面白味が多いといふわけです。上に掲げた私のスキー寫眞は雪面の美しい描寫を目的に寫したのではなく、野澤スキー場の情景を普通に記録的に寫したもので、光線状態はそれ程面白くありません。こんなのは露出さえ誤らなければ樂に撮れる寫眞です。

もう一枚の樹の枝にかゝつた雪の寫眞は逆光線撮影ではありますが、これは曇り日で太陽が形を現はしてゐない状態のもとに撮影したものです。これも雪の面の美しさをねらつたのではなく、畫面全體を裝飾畫風にとりあつかつて作畫したものです。何れの場合にもフィルターは單に紫外線除け程度の極く淡いフィルターを使つただけです。

### ◎フィルターは淡いものを

フィルターは使つた方がよいが、使ふとしても比較的淡いものがよろしい。雪景寫眞で雪面の階調美に主力を注ぐためにフィルターの濃いのをかけて空の調子を黒くしたものをよく見受けますが、それは特殊な目的で寫す場合の外は避けた方がよろしいでせう。少しフィルターが濃過ぎるかと思ふ疑問が生じた場合には露出を少しばかり餘分にかけておくことです。そうすれば空の調子が、がたおちしないで済ませう。

### ◎広い範圍か、狭い範圍か

初心の方が先づ迷ふのは、広い範圍を寫した方がよいか、狭い範圍に主力を注いだ方がよいか、といふことです。これは個々の場合によつて違ふことですから一概には決められません。初めのうちは餘り広い場面を寫さうとすると纏りが悪いから、狭い範圍の雪面の階調美を描寫することに主力を置き、少し慣れて來たら広い範圍にレンズを向けてものを大掴みにした方が呑込み易いのではないでせうか。これは普通の風景寫眞を寫す場合にも言へること、寫眞を學ぶコツとも言へませう。



## ◎現像のコツ

雪やスキーの寫眞では、特に露出と現像のデリケートな關係に氣をつけて下さい。露出を適度にする、現像を適度に行ふことも勿論よいことですが、どちらかといへば現像を不足氣味にあげた方が引伸しの時、調子を出し易いと思ひます。これは雪面が眞白に輝いてゐる部分など、少しでも現像を過ぎると所謂ハイライトの調子がつぶれ易く、従て引伸の際に雪面の調子が出ないで困るといふ結果になるからです。

再びいふ、露出は適度に、現像は一吋ひかえめに。これが技術上のコツです。

## ◎スキー寫眞になると

スキー寫眞になると、スポーツ寫眞になりますから、普通の雪の寫眞と一寸趣きが違ひます。しかし廣い雪景の中に小さくスキーヤーが寫し込まれたり、シユプールの美しさを描寫しやうとする場合などは、普通の雲の寫眞と全く同じ要領で寫して差支えない筈です。

スキーのスポーツ感を描寫しやうとすれば雪の面の美しさといふよりも、スキーヤーの描く動態の一瞬間を捉えなければならぬのですから、全く違つた心構へが必要となるわけです。この动感の表現は面白いかわりに中々よいものが得られないやうです。スピードを出して滑走するスキーヤーに近づいて寫さうとすれば、シャッターは三百分の一でも五百分の一でも止まらない程度ですが、畫としては却て动感が現れてゐて面白い場合もあります。普通ですと、滑降するスキーヤーがカメラの前十米位離れたところ迄來たあたりでシャッターを切るのですから百分の一から三百分の一秒程度の露出でよいと思ひます。

その場合に雪面に對する露出は多少不足になりますが、それはスキーヤーの方を主とする爲にある程度の犠牲は止むを得ないといふことになりませう。

## ◎温泉とスキーと寫眞

冬、温泉に出かける方は、温泉とスキーと寫眞とを結びつけて考へて下さい。スキーなど全く初歩でもスキー寫眞を撮ること位は平氣ですよ。近頃では東京附近の上越國境、信越國境の各温泉場には何れも宿の近くにスキー練習場が出来てゐて、どんな初心の方でも全く遠慮なく滑れる(?)やうに設備されてゐます。初めてスキーをはく方でも一時間もすれば多少樂に歩けるやうになり、三時間もすれば結構直滑降位やれるやうになるのですから、うつかりすると寫眞などそつちのけてスキーに夢中になるものです。私はやはり初心の部類ですから、冬になるといつも温泉とスキーと寫眞とを結びつけて考へることを楽しみにしてゐます。

## ◎場所の紹介

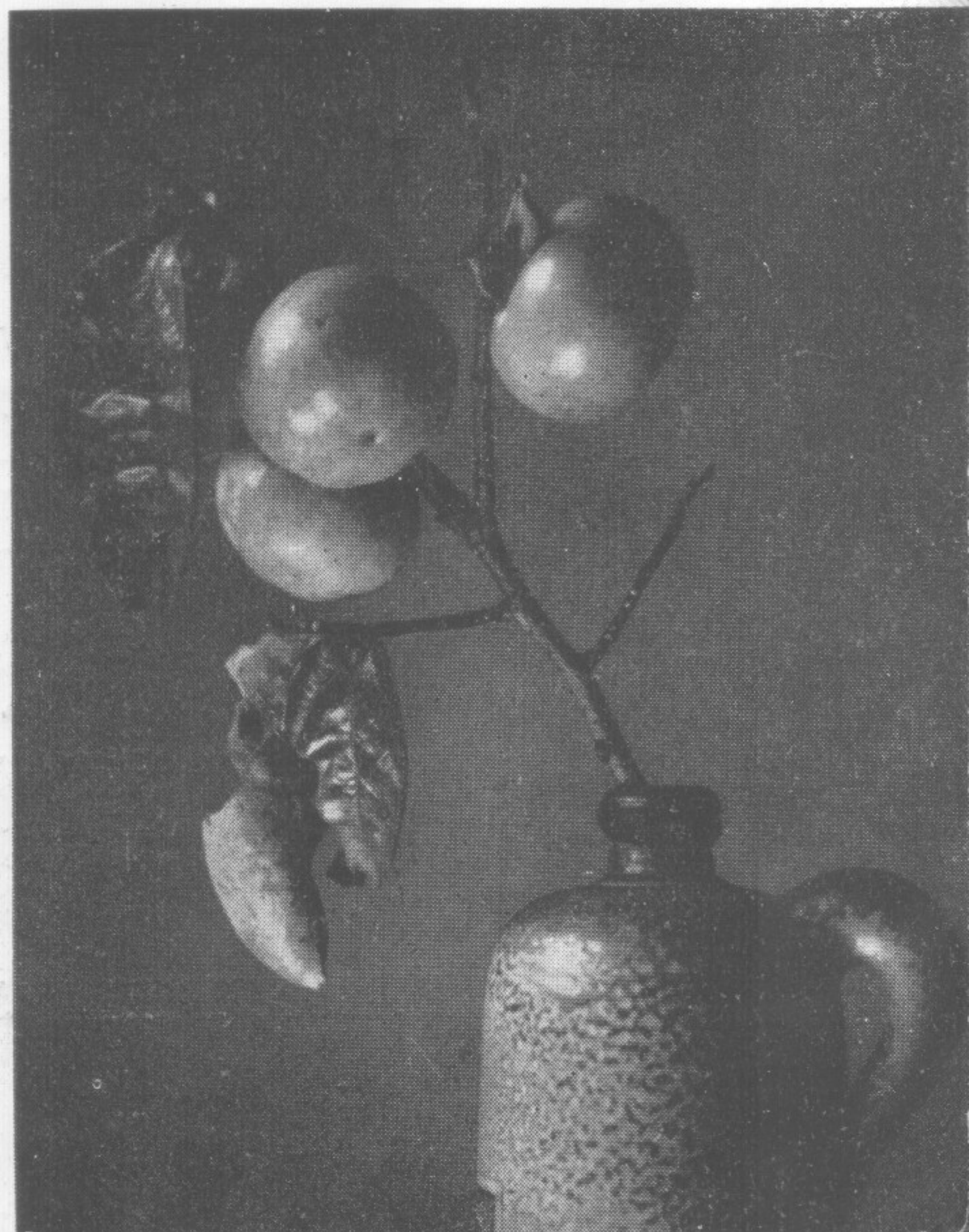
東京附近といへば、上越國境、信越國境です。伊香保、鹿の澤、大原、谷川、大穴、越後湯澤、草津、新鹿澤、山田、妙高山麓、野澤、霧ヶ峰(温泉からすぐスキーははけないが上諏訪温泉から清水橋迄バスで行き、それから二キロ登つた處)奥日光、花巻、大鰐、五色、四萬温泉等があります。

中でも草津などは、宿のすぐ上にゲレンデがあり夜間照明迄施して夜間でも滑れるなど思ふだけでも嬉しい限りではありませんか。

静  
物

セミア  
アース  
スト  
トロー  
コー  
レン  
ズ

八  
木  
茂  
作





# シックスサイズの

# 特異性とその活用

大隈都音男

6×6判サイズに就て何か所感をと云ふ御注文であるが、自分の好きなサイズのことであるから簡単に引受けてしまつたが、さてペンを執つてみると大概のことは既に言ひ古されて居り、蒸返しては氣の利かぬこと夥しいし、と云つて少しく悉しく書き出すと焦點距離や焦點深度にも言及しなければならなくなつて、逆も短文では纏らなくなるので、ほんのアウトラインの——シックスのサイズ丈に就て思ひつくまゝを述べて行くことにする。

近年感光材料及引伸機が目覺しい發達から小型カメラが驚異的な躍進を遂げ、小型カメラの黄金時代を現出したが、特にその内でもシックスサイズの出現は確に一つのエポックを作るものとして注目されてゐる。その理由を闡明するに先つて少しく既往に遡つて昔のカメラに一言觸れることを許されたい。

顧て今から二十何年も前——私が寫眞を始めた第壹期の終りの頃には、當時の作家連に持断された寫眞機と云へば組立に限られたもので、いざ撮影會に行くとなるとカビネの組立にテッサーの十六番とかダゴールの三番、それにソフトホーカスのヴェリトの九吋と云ふチェリーの丸罐程の偉大なレンズだの、取替數枚、ソルトンシャター、フキルター等を鞆に収めて肩にかけ、黒の冠布に三脚を包んで小脇に抱へ草鞋穿きと云ふのが一般の撮影會姿であつた。

そして少しく遠出をするとなると、其上にカビネの乾板一二打に乾板取替袋など、云ふもの迄、一切合せて擔いでみると二貫目以上にもなつたであらう。

であるから寫眞を作るには一種のスポーツ的條件を必要としたもので、寫眞家仲間には『足で寫す』と云ふ言葉さへある位で、競枝會等で榮冠を獲得する爲めには、技以外に相當な體力を必要とした。

冬の曠野、積雪の山、夏の炎天で二貫目以上の荷物を肩にしてはそれを持運ぶことが既に大變な勞力であつて、而も好き獲物はないかと四方八方に眼を配つてお練りて歩くのであるから、一町歩いては肩を替へ二町行つては一と憩みと云ふ有様で、實に難行苦行を積み重ねばならなかつた。

それが現代では何うだらう。

外套のポケットに入るやうな精巧なカメラで十二枚十六枚と連續的に何の苦勞もなく撮影出来るし、感光材料、引伸機の劃期的飛躍で全紙位は平氣で引伸が出来るのだから、全く隔世の感があるのである。

そして感光材料も乾板の不自由、パツクフィルム光線の引き、非平面性の缺陷からロールフィルムの融通性、安全性を巧に利用したものが全盛を極め、サイズも大型から小型へ小型へと推移して遂にライカ判卅六枚撮り、ベスト、ブローニー半裁判、4×4、6×6判と云ふ昔は夢想だにしなかつた新らしいサイズが生れて來た。

カメラも同様各サイズの優秀機が續々とデビューすると云ふ有様で、近年の寫眞界は實に革命の旋風が捲き起つた如き狀況になつた

然し茲に一つの惱みは、現代の進歩した科學の力を以てしても、レンズの解像力とフィルム解像力とが未だ一致しないことで、解



撮力の點ではフキルムの方が約卅分の一も劣つてゐると云ふのであるから、サイズが小型になるに従つてフキルムの粒状の問題が面倒になり、やれフアインコルンフキルムだとか微粒子現像とか云ふことが種々論議され出し且つ卅六ミリフキルムを使用するカメラは概して高價で大衆的でないと云ふ理由もあつて、一般向きのものとして最も實用的な小型機をと物色するならば

### ブローニー半裁判6×6判が理想

で、最も經濟的であるとされるに至つた。我人共に同じ考へと見へ現今では之等のサイズのカメラが斷然寫壇の寵兒となつてゐる。

實際これ等のサイズならばフキルムの解像力の點から見ても、粒状化問題も先づ緩和され充分豊麗鮮鋭な引伸が可能であるし、カメラの容積も手頃で價格も比較的廉價なのだから、翕然と人氣の茲に蒐つたのも當然と考へられる。そして之等のカメラの利點として喧傳されてゐる點を聞けば

- 一、輕量簡便で、經濟的なること。
- 一、ロールフキルムを使用する故に光線引きの憂ひのないこと。
- 一、シツクスサイズでは横縦の操作上の面倒が省ける故、瞬間撮影に非常に便利である點。

が主なる利益とされ且つ密着でも見られると云ふのも人によつては嬉しい事に數へられやうが、前二項は常識的に判斷出来る事柄で多く蛇足を加へる必要はないが、シツクスサイズに就ては使用上にコツとも云ふ可きものがあり、何故自分が此サイズを好むかと云ふ點に關し述べてみやう。

大體に於て

### 小型原板は引伸を豫定してゐる

ものであるから、鑑賞印畫制作に志す人は撮影當初から引伸の場合を想像してかゝらなければならぬ。

そこで小型の原板は成可くカットを少くしたいので、倍率が増大してくるといろいろな弊害を伴つてくる。即ち印畫紙の粒状化は勿論、トリミングが多すぎると引伸機にかけて

四切一杯に伸びる可きものが、光源室を反對側に廻轉して臺板より下に印畫紙を置かなければ、四切に引伸せなかつたり、使用引伸機のレンズの焦點距離の關係から大型の引伸が不可能になつたりする等の事情が起り、何れにしても原板を多くカットする事は決して策を得たるものでない事は明かである。

然るに透視フアインダーの撮影では、原板に無駄なく寫すと云ふことは仲々困難なものであつて、視角通りに正確に被寫體をキャッチすることは相當の習練を要する。

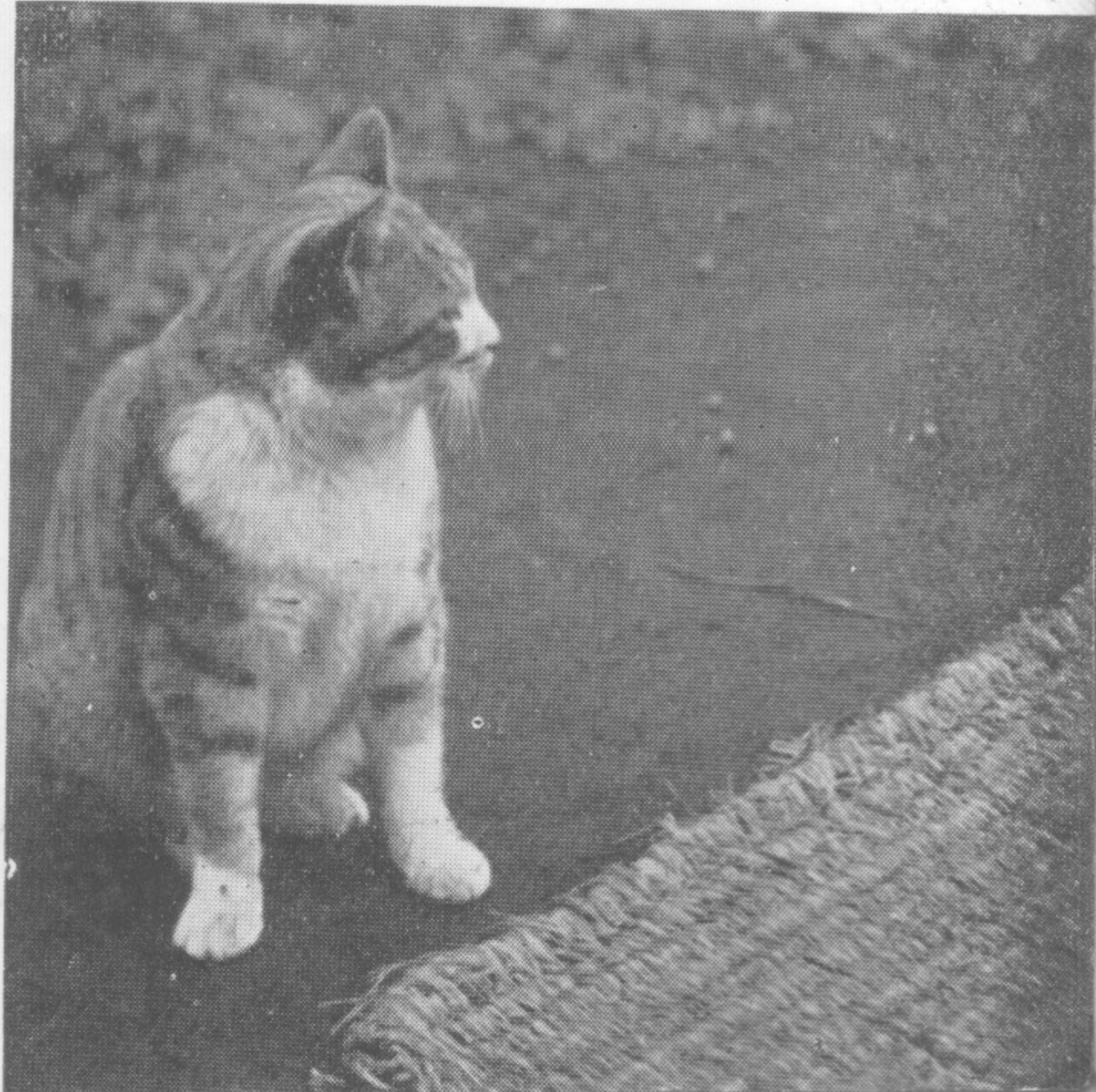
上りすぎ下りすぎ等は急ぐ時には往々やるところで、それも横位置に使用する場合は未だよいが、縦位置になるとカメラが不安定となるのでフアインダーを通しての視角は狂ひ易く、また原板に於ても普通サイズは横幅が狭く、また原板に於ても普通サイズは横幅が狭いため、一寸の狂ひでも救濟出來ぬ破綻となるものであるが、そこへ行くとシツクスサイズは誠に工合よくカメラは常に横位に安定してゐるので、觸れは少く手持でも緩速度シャッターが切れるし、フアインダーと眼の不一致から來る視角の狂ひもなく、操作上の安全性は非常に増大されてくるのである。

亦スナツプ寫眞で瞬間のチャンスを争ふ場合、横縦の選擇などしてゐられない時に何の躊躇もなく直ぐに撮影出来る事は、實際に臨んでどの位利便を蒙るか判らない。

その他前記の如くフキルムの經濟、カメラ容積の輕量、材料の新鮮なものが何處でも直に得られると云ふ點も擧げられて、シツクスの支持者は將來益々増加して行くと思はれる

が茲に一つ眞四角なサイズに就て、此は印畫紙に一致しないと云て異説

ファーストシツクス  
オリクロームフィルム  
トーコーレンズ絞F8  
波木元作 10分1





をなすものがある。

現代の印畫紙のサイズは悉く長方形をなして居り、即ち美學上の黄金分割の法則に準據し鑑賞に最も快適なサイズであるのだが、シツクスサイズは印畫紙のサイズに據れば原板に於て、原板一杯の眞四角に引伸すれば印畫紙に於て、何れかにカットを施さなければならぬ——と云ふ。

好き嫌ひは全く個性的な絶対なものであるから強ち反對するのではないが、單にそれだけの理由から他の利點を顧みないならば、それは決して妥當ではないと思ふ。

以上の事實は決してシツクスサイズの缺點ではなく、扱方の觀念一つで寧ろ

### シツクスサイズの優れた特徴

とも云るものである。それはシツクス判は、全判を使用させるために設計されたものと云ふ考へを持たずに、左右亦は天地に餘猶をとつて置き、引伸に臨んで作畫意圖に適應した横縦の位置を決定する便のために、取敢ず眞四角の中央に主體を取入れて置く、これは取も直さず横位置縦位置の二枚を一枚の原板に撮つて置くやうな状態になるのであるが、無定見に行ふのでなく計画的にある意識を働せつゝ行へば活用の價値は益々増大されてくるのである。

自體トリミングとは原板の上に於て行ふのは最も幼稚なものであつて、眞の意味のトリミングは撮影時に廣大なる外景に對しカメラを向けるその時、既に第一のトリミングが行はれるのであつて横縦の位置はその時既に豫定されるのだが、普通サイズのカメラで透視ブラインダーで撮影する時は、無駄なくぎりぎり一杯に撮ることは仲々至難である故に、シツクスの如きサイズで天地亦は左右に餘猶を残して撮影して置くのは、迅速、安全性に於て一寸他のサイズの企及出來ぬ特質を發揮し得ると思ふのである。

以上の見解から自分はシツクスサイズを愛好するのであるが、此は只サイズにのみ關した見方であつてカメラ自體に對する希望等もあるのであるが、それは割愛させて戴きたい

# ファーストシツクスの解剖

山本登

私はこれまで獨逸製のハンドカメラでソウエカメラの名刺判でメーヤー F4.5S コンパーシャッター付カメラを持つて居ましたが、最近の雑誌の廣告にアオラレて小型スプリング式カメラと取替たくなつて、さて寫眞機屋のウィンドーを見て歩くとあまりの多種類に實はすつかり迷つてしまひました。

舶來品で高級なものもあるがあまり高いものは豫算が許さないで友人のMに相談した處、Mはセミファーストのトーコー 4.5S セイコーシャッターを持つて居る、そしてトーコーレンズの良い事や其他シャッターや機構の誑子の良い事を聞かされたが、私は未だ國産品は信じ切れなかつたのですが、豫算の都合もあり、Mに奨められるまゝにファーストシツクスを買ふ事に決めていつも買付けの寫眞機店に行つたが今品切だと云ふので來次第に届けてくれる様頼んで置いた處、本月月始めに届けて來たが、さてカメラを手にして見てあまりにも少さく然も友人Mの持つて居るセミファーストと同じ大きさなので初めは間違つて持つて來たのではなからうかとさえ思はれたが、正に待ち焦れたファーストシツクスであまりの小型に不安さへ持つた。

早速オリクロームフィルムのブローニ判を買つて來て試寫して見た處、シツクス判は實に使ひよい、第一6×6cm 正方形だから従位置横位置の煩らはしさはなく、畫面がこれまでの名刺



判と大して變りなく密着焼として充分感賞出来るし、引伸の際トリミングするにも此れ丈大きいと實に樂である。

それからフィルムの捲取器が實に良く出来て居る、始めフィルム視窓で一番のフィルムを見て後はフィルム窓は閉めきり捲取器に標示した番號に依つて十二枚共寫される、これなればパンクロフィルムなど使つた場合フィルム窓を開けたり閉めたりする必要がなく大層便利であらうと思はれる。それに夜間撮影の時など赤窓でフィルム番號を見るのはなかなか困難だが、これなればそんな煩らはしさもなく晝でも夜でもフィルム視窓を見ないので操作が迅速に行はれる、ファーストシツクスは一枚寫して次のフィルムが一秒間程で用意出来る、舶來品でも表にフィルム計數盤が付いて居るのは數百圓もするがそれと同じ役目をしてくれる。

さて寫した寫眞ですが別送の印畫を見て下さい、未だ二本しか寫さないので駄作ですが大層に良い、自分等の寫眞の會に舶來の6×6判のカメラを持つて居るものもあつて、四角がアマイなどと云つて居たが此トーコーレンズの素晴らしい事、早速四切判に伸して見たが先に使つて居たメーヤーより遙によい様に思はれる、未だ全紙までに伸しては見ないが恐らく此調子なら全紙にしたとて相當確つかりした印畫が出来たらうと思つて居ます。これまで國産カメラなどと云つて居た認識不足の自分が恥しくなつて來た。

私は元來機械屋の二男坊で、と今更開き直つて戸籍の披露をするつもりはありませんが小さい時から機械イヂリが好きで、今或専門學校の工科に籍を置いて居り其のせいもあらうが機械類を破して見るのが又好きで折角手に入れた愛機を早速解剖して見ました。

醫科の生徒が人體を解剖するのだから、工科の生徒が機械の解剖？するのに不思議はないはずです。

先ずメスをボディの覆の皮張にさし込んで

見た處、カメラに依つては本皮によく似た布レザーを張つてあるが、此ファーストシツクスには真正正銘の皮が張られてある、これなれば切口からもぞもぞほぐれる様な事もなからうし、それに第一丈夫であらう。

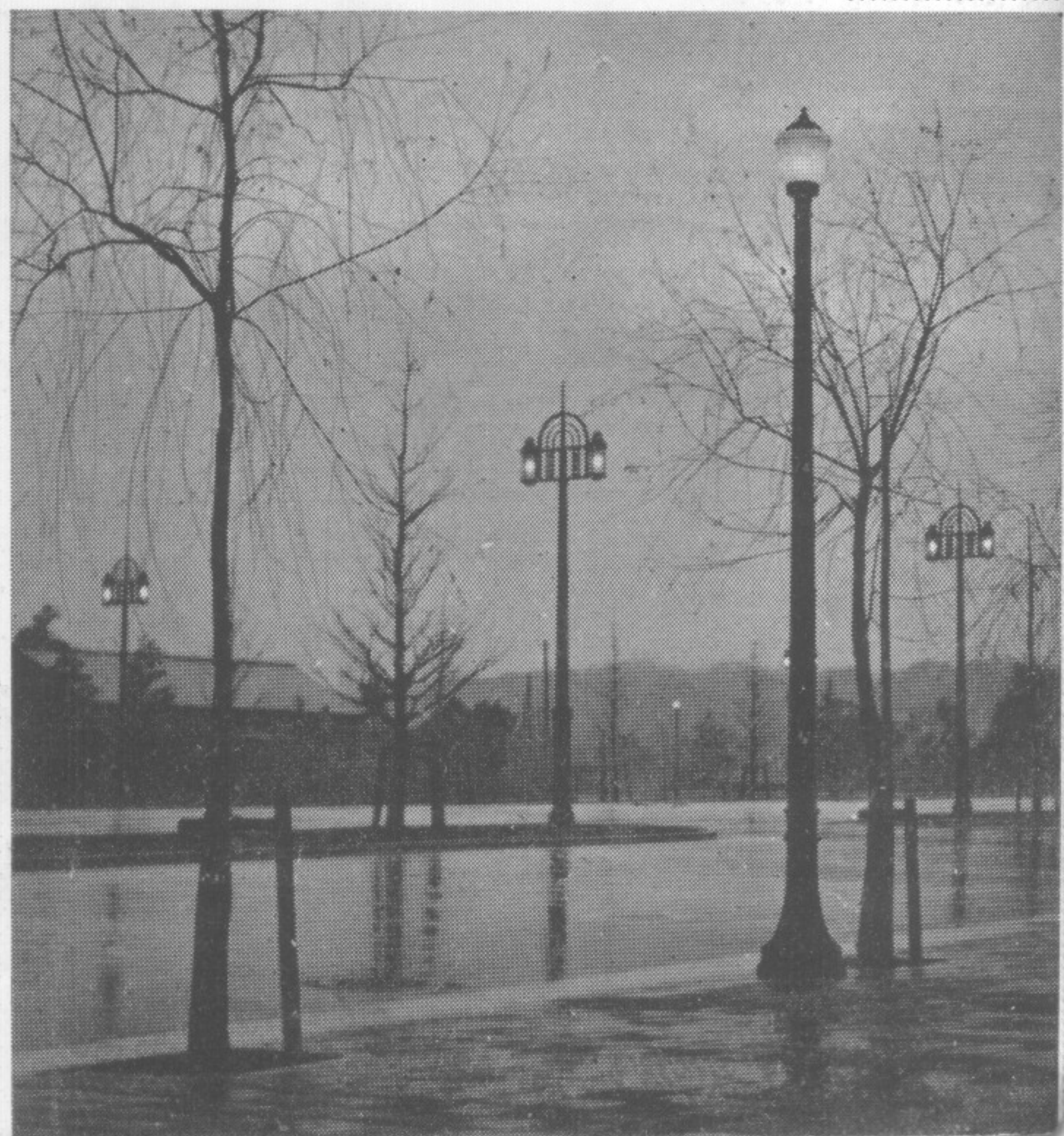
次はボディの金物だが、これはなかなか良い地金を使つて居る、それを壓搾器に掛けて壓搾絞り出しになつて居る、此地金を使つて此工作をしてあれば、寒暑の激しい所へ持つて行つても狂ふ様な事はあるまい、それに、各部の螺鈺も出来が自動盤で作られた螺鈺らしい。

私は先頃或國産カメラで赤鈺を使つて作られたカメラを見て驚いた、赤鈺とは銅で作つた鈺の事で此れは工作が大層樂だがカメラの様な精緻機に近いものを赤鈺で止めたりすると少し使つて居ると直ぐ狂が生じて來る、赤鈺など使つてある機械を買つたら災難だ、これは一寸素人には解らない事であるが。

それからボディの主要部を電氣溶接をしてある、國産カメラも電氣溶接を使つて居るのは頼もしい。

其他タスキの部分やカメラを開く時のスプリングの調子が實に良い、獨逸製のものでもガチャンと調子の強過ぎる様なものもあるが此ファーストシツクスはボタンを押して鏡玉部の出て來る調子など獨逸の一流品と全く同じで材料も舶來品と遜色のない良いものを使つて居る、これなれば大切に使へば一生ものだ。

オリクローム絞Fに六、三  
シャッター二十五分ノ一









# レフレックス コレレ6x6

II型緩速度シャッター  
セルフタイマー付 新輸着!!

6x6レフレックス時代に尙一層の完璧を誇る  
単鏡玉カメラ レフレックスコレレ!

明るさ・距離・位置・總てが一操作で瞬間  
に出来る唯一のカメラ

レフレックス コレレ!

新型緩速度シャッター付の完成は益々  
レフレックスコレレの萬能性を發

輝す



	I型	II型
ラヂオナー	F 3.5 ¥ 280.	¥ 340.
ラヂオナー	F 2.9 ¥ 330.	¥ 390.
クスナー	F 2.8 ¥ —	¥ 430.
テツサー	F 3.5 ¥ 420.	¥ 480.
テツサー	F 2.8 ¥ 480.	¥ 540.

ビクター F 4.5 ¥ 170.

ジュニア型

速寫ケース

¥ 8.00

コレレカタログ進呈

全國著名寫  
眞機店に有





- トーコー F6.3 マグナー ¥ 40.
- トーコー F4.5 // ¥ 46.
- トーコー F4.5Sセイコー ¥ 85.
- トーコー F3.5 // ¥ 98.
- ラヂオナ F4.5ルレックスB ¥ 60.

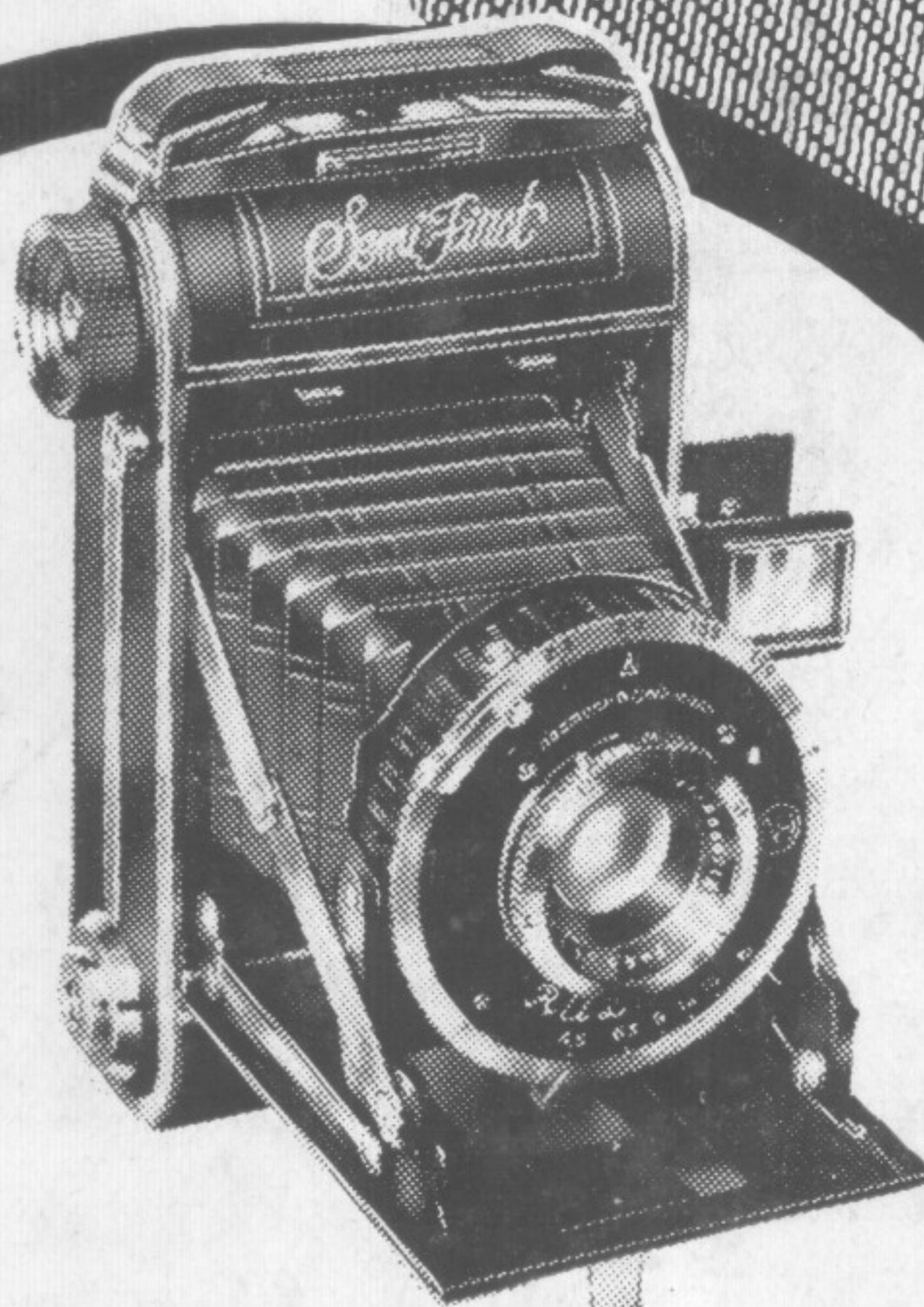


ファースト  
 シックスは、セ  
 ミ判で小さく名  
 刺判で大きく感  
 じる方に、理想的  
 なサイズです  
 機構、レンズ、シ  
 ャッター、は既  
 に斯界に定評があ  
 ります巻取  
 PAT  
 装置付

*First*  
 CAMERA WORKS

# 選ぶ良品

B型セミ  
 ファースト  
 は普及版で大層  
 廉價で御座いま  
 す  
 レンズはトーコ  
 ーとファースト  
 シヤッターはル  
 レックスと精  
 工舎マグナー  
 で共に定評  
 あり



- トーコー F6.3 マグナー ¥ 38.
- トーコー F4.5 // ¥ 45.
- ファースト F4.5ルレックスD ¥ 45.
- ファースト F4.5 ルレックス ¥ 50.  
 5分1ヨリ
- ファースト F4.5 // ¥ 55.  
 1秒ヨリ